

函南町教育委員会
教育情報セキュリティポリシー

函南町教育委員会

令和8年1月15日

第1章

教育情報セキュリティ基本方針

第1章 教育情報セキュリティ基本方針

1. 目的

現在、教育現場では GIGA スクール構想の推進により、一人一台端末やクラウドサービスを活用した学習環境の整備が進められている。本町においても、GIGA スクール構想の進展により、教職員および児童生徒の一人一台端末の活用が日常化している。加えて、統合型校務支援システムや生成 AI の校務利用、さらにはクラウドサービスや教育データダッシュボードの利活用が進んでいく見込みであり、教育現場における情報技術の進展は加速度的に進んでいる。ICT は、今や学習、校務の両面で不可欠なツールとなっており、児童生徒は家庭においても端末を活用した学習を行うなど、その利用範囲は学校内にとどまらない。

一方で、学校が取り扱う情報には、児童生徒、教職員、保護者等の個人情報や、校務運営に関わる重要な情報が多数含まれており、それらが漏えい、改ざん、滅失等した場合、重大な権利侵害や信頼失墜につながるおそれがある。こうした中、児童生徒や教職員等が安心して学習、指導に取り組めるよう、教育委員会と学校が一体となって情報セキュリティを確保する必要がある。教育現場における情報セキュリティを検討する際には、学校ならではの次のような特徴を考慮する必要がある。

(1) 児童生徒・保護者の存在

地方公共団体の他の行政事務と異なり、学校では児童生徒が一人一台端末を使って学習活動を行うなど、サービスに従う者以外もシステムにアクセスする。そのため、児童生徒や保護者の存在を前提としたアクセス権限の設定や、児童生徒への適切な情報セキュリティ指導が求められる。

(2) 情報の変容

学校で取り扱われる情報は、取り扱う主体や目的、付加される情報によって性質が変わる。たとえば児童生徒が作成したワークシートが、教員の評価情報が加わることで成績情報となるように、状況によって取扱いを見直す必要がある。

(3) GIGA スクール構想に基づくクラウド活用

パブリッククラウドの活用が進み、校務もクラウド上で実施される次世代校務 DX が進展している。重要な情報がクラウド上で扱われることを前提に、より高度なセキュリティ対策が求められている。

こうした状況を踏まえ、ICT の利活用と情報セキュリティの確保を両立させ、児童生徒や教職員が安全かつ安心して ICT を活用できる環境を整備することが不可欠である。本ポリシーは、文部科学省が示す「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン（令和7年3月）」および「教育情報セキュリティポリシーハンドブック（令和7年3月）」を参考に、町内の学校等における情報資産を適切に管理・保護するための基本方針および具体的な対策基準を定めたものである。全教職員に共通の統一的な規範として浸透・定着を図るとともに、技術の進展や環境の変化にも柔軟に対応する体制の構築を目的とする。

2. 構成

本ポリシーは、函南町教育委員会および町内の学校が保有する多岐にわたる情報資産を、様々な脅威から包括的に保護するための情報セキュリティ対策を、体系的かつ具体的に詳述し集約したものである。学校が管理する重要な教育情報資産を取り扱う全ての教職員に対し、その内容を深く浸透させ、日々の業務における情報セキュリティ実践の礎として定着させることを目的としている。

情報処理技術や通信技術の進歩は著しく、情報資産を取り巻く情勢は常に急速な変化を遂げており、このような変化に柔軟かつ的確に対応するため、本ポリシーは2部構成としている。第1章として、情報セキュリティ対策における普遍的な基本原則を定めた「教育情報セキュリティ基本方針」を据え、第2章として、情報資産を取り巻く環境の変遷に応じて柔軟に対応し、具体的な対策を詳述する「教育情報セキュリティ対策基準」を設けることで、実効性と適応性を兼ね備えた情報セキュリティ体制を実現する。これにより、常に最新の脅威に対応しつつ、教職員、児童生徒、保護者が安心して情報資産を活用できる環境を維持することを目指す。

3. 適応範囲

このポリシーの適用範囲は、学校及び教育委員会における学校用のシステム、サーバ、クラウドサービス等で扱われる以下の教育情報についてである。

- (1) 教育ネットワーク、教育情報システム、これらに関する設備、電磁的記録媒体
- (2) 教育ネットワーク及び教育情報システムで取り扱う情報（これらを印刷した文書を含む。）
- (3) 教育情報システムの仕様書及びネットワーク図等のシステム関連文書

4. 情報資産の分類と管理

学校の情報資産を次のとおり重要性分類Ⅰ～Ⅳに分類し、必要に応じて取扱制限を定め、適正な管理を行う。

重要性分類Ⅰ：セキュリティ侵害が教職員又は児童生徒の生命、財産、プライバシー等へ重大な影響を及ぼすもの。
重要性分類Ⅱ：セキュリティ侵害が学校事務及び教育活動の実施に重大な影響を及ぼすもの。
重要性分類Ⅲ：セキュリティ侵害が学校事務及び教育活動の実施に軽微な影響を及ぼすもの。
重要性分類Ⅳ：影響をほとんど及ぼさないもの。

5. 情報資産に対する脅威

- (1) 不正アクセス、ウイルス攻撃、サービス不能攻撃等のサイバー攻撃や部外者の侵入等の意図的な要因による情報資産の漏えい・破壊・改ざん・消去、重要情報の詐取、内部不正等
- (2) 情報資産の無断持ち出し、無許可ソフトウェアの使用等の規定違反、設計・開発の不備、プログラム上の欠陥、操作・設定ミス、メンテナンス不備、内部・外部監査機能の不備、委託管理の不備、マネジメントの欠陥、機器故障等の非意図的の要因による情報資産の漏えい・破壊・消去等
- (3) 地震、落雷、火災等の災害によるサービス及び業務の停止等
- (4) 大規模・広範囲にわたる疾病による要員不足に伴うシステム運用の機能不全等
- (5) 電力供給の途絶、通信の途絶、水道供給の途絶等のインフラの障害からの波及等
- (6) 事故、故障、障害等によるデータの消失、業務の停止等

6. 教育情報セキュリティ対策

情報資産を脅威から保護するため、次に定める教育情報セキュリティ対策を講ずるものとする。

- (1) 組織体制
学校の情報資産について、情報セキュリティ対策を推進する組織体制を確立する。
- (2) 情報資産の分類と管理
学校の保有する情報資産を重要性分類Ⅰ～Ⅳに分類し、当該分類に基づき情報セキュリティ対策を実施する。
- (3) 物理的セキュリティ対策
情報システムを設置する施設への不正な立入り、情報資産への損傷、盗難等から保護するために保守管理に関する措置や管理区域の設定等の物理的な対策を講ずる。

(4) 人的セキュリティ対策

教育情報セキュリティに関する権限や責任を定めるとともに、全教職員等にこのポリシーを周知徹底するための教育及び啓発を行う等、必要な対策を講ずる。

(5) 技術的セキュリティ対策

情報資産を不正なアクセス等から適切に保護するため、情報資産へのアクセス制御、不正プログラム対策ソフトウェアの導入等の技術面における対策を講ずる。

(6) 運用

教育情報システムの監視、教育情報セキュリティポリシーの遵守状況の確認、業務委託を行う際のセキュリティ確保等、教育情報セキュリティポリシーの運用面の対策を講じるものとする。また、情報資産に対するセキュリティ侵害が発生した場合等に迅速かつ適正に対応するため、緊急時対応計画を策定する。

(7) 業務委託と外部サービス（クラウドサービス）の利用

業務委託を行う場合には、委託事業者を選定し、情報セキュリティ要件を明記した契約を締結し、委託事業者において必要なセキュリティ対策が確保されていることを確認し、必要に応じて契約に基づき措置を講じる。外部サービス（クラウドサービス）を利用する場合には、利用に係る規定を整備し対策を講じる。ソーシャルメディアサービスを利用する場合には、ソーシャルメディアサービスの運用手順を定め、ソーシャルメディアサービスで発信できる情報を規定し、利用するソーシャルメディアサービスごとの責任者を定める。

7. 教職員等の責務

学校長、教頭、臨時的任用教職員、非常勤講師を含めた教職員全員（以下「教職員等」という。）は、情報資産の利用に当たっては、関連法令を遵守する。また、教職員等は、教育情報セキュリティの重要性を認識し、このポリシーを遵守する。

8. 教育情報セキュリティ対策基準の策定

具体的な遵守事項及び判断基準等を定める教育情報セキュリティ対策基準を策定する。なお、「教育情報セキュリティ対策基準」は、公にすることにより、セキュリティ上のリスクが増大し、本町教育委員会事務局の行政運営に重大な支障を及ぼすおそれがあることから非公開とする。

9. 教育情報セキュリティ実施手順の策定

教育情報セキュリティ対策基準に基づき、情報セキュリティ対策を実施するための具体的な手順を定めた教育情報セキュリティ実施手順を策定する。なお、教育情報セキュリティ実施手順は、公にすることにより、セキュリティ上のリスクが増大し、本町教育委員会事務局の行政運営に重大な支障を及ぼすおそれがあることから非公開とする。

10. 教育情報セキュリティ監査及び自己点検等の実施

教育情報セキュリティポリシーの遵守状況を検証するため、定期的又は必要に応じて情報セキュリティ監査及び自己点検を実施する。その結果、教育情報セキュリティポリシーの見直しが必要となった場合及び情報セキュリティに関する状況の変化に対応するため新たに対策が必要となった場合には、教育情報セキュリティポリシーを見直す。